

# 第2学年 算数科学習指導案

児童 男11名 女6名 計17名  
 授業者 佐々木 祐子

単元名	かけざん(1)
指導事項	除法の意味について理解し、それをを用いることができるようにする。
のぞむ児童の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式でかき表したり、乗法九九を絵や図、言葉、式等を使って構成することができるようにする。</li> <li>乗法九九(5, 2, 3, 4の段)を確実に唱えることができるようにする。</li> </ul>
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○除法のよさに気づき、ものの全体の個数をとらえるときに乗法を用いようとする。 【関心・意欲・態度】</li> <li>○累加の考えや乗数と積との関係などを基に、乗法九九の構成の仕方を考え表現することができる。 【数学的な考え方】</li> <li>○乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表すことができる。</li> <li>○乗法九九(5, 2, 3, 4の段)を構成し、確実に唱えることができる。 【技能】</li> <li>○乗法が用いられる場合や乗法九九について知り、乗法の意味について理解する。</li> <li>○乗法に関して成り立つ性質(乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則)を理解する。 【知識・理解】</li> </ul>

## 1 単元について

### (1) 児童について

児童は、前学年で、10のまとまりがいくつと数えてものの総数を求めたり、2とびや5とびでもの数を数えたりするなど、乗法の措置的な経験をしてきている。これらの経験を受けて、第2学年では、乗法が用いられる場面を通して、乗法の意味を理解し、乗法九九を構成したり九九について成り立つ性質に着目したりして、乗法九九を身に付けさせるようにする。

児童の実態を見てみると、具体物や半具体物を数える時、いくつかの数のまとまりを作って数えられる児童は多い。一方で、2とび、5とび、10とびなど数の系列がわからなく、それらの数え方も定着していない児童もいる。本単元前に、前学年で学習した「数の系列」「○とびの数え方」「数の構成」について復習していく必要がある。

### (2) 単元を通して身に付けたい力について

単元を通し、かけ算の場面をおはじきで並べ表したり図にかき表したりする活動、アレイ図を用いて九九を作ったり確認したりする活動を取り入れ、「単位とする大きさ」や「いくつ分」が正しく捉えられるようにする。乗法の意味理解につなげるために、絵、図、式、言葉を結びつける活動を十分に行いたい。

「かく」活動では、様々なかけ算の場面が登場するので、それらの場面を正しく図にかき表す力を身に付けさせるようにする。(手立て2) また、自分の考え方や出した答えを隣の児童に伝えたり、乗法九九を確認し合ったりするペア学習や、答えがかけた児童から教室後方でフリーに友達と考えを交流し合う活動等を取り入れていく。自分以外の考えに触れさせる機会を設け、よさを見つける力や、考えを伝えたり聞いたりする力を付けていきたい。(手立て3)

## 研究の実践

【手立て1 指導過程の工夫】・・・適用問題の吟味，全体交流の時間の確保

【手立て2 「かく」活動】・・・乗法が用いられる場面を絵や図，言葉，式等がかき表す。  
乗法九九を絵や図，言葉，式等を使って構成する。

【手立て3 相互交流】・・・自分と友達の考えの同異点を見つける。乗法九九の構成方法を友達に伝えたり，友達の考えを推測したりする。乗法九九の暗唱をペアで確認する。

## 2 単元指導計画（全25時間）

### ①かけ算

- 第1時 ・ものの全体の数を「1つ分の数」「いくつ分」ととらえようとする
- 第2時 ・「1つ分の数」「いくつ分」ととらえること
- 第3時 ・乗法の意味 ・「かけ算」の用語
- 第4時 ・乗法の場面を式に表すこと
- 第5時 ・乗法の場面をおはじきや式で表す活動
- 第6時 ・同数累加による情報の答えの求め方
- 第7時 ・「倍」の意味の理解と乗法の適用
- 第8時 ・身の回りから乗法の場面を見出す活動
- 第9時 ・学習内容の習熟（力をつけるもんだい）

### ②5の段，2の段の九九

第10・11・12時

- ・5の段の九九の構成 ・暗唱と適用 ・5の段の九九を用いた問題の解決

第13・14・15時

- ・2の段の九九の構成 ・暗唱と適用 ・2の段の九九を用いた問題の解決  
(本時)

### ③3の段，4の段の九九

第16・17・18時

- ・3の段の九九の構成 ・暗唱と適用 ・3の段の九九を用いた問題の解決

第19・20・21時

- ・4の段の九九の構成 ・暗唱と適用 ・4の段の九九を用いた問題の解決

### ④まとめ

第22・23・24時

- ・学習内容の理解（力をつけるもんだい・しあげ）

## 3 本時の指導（5／24）

### (1) 目標

2の段の九九の作り方を考え，式や言葉等で説明することができる。(考え方)

(2) 仮説との関わり

【手立て1 指導過程の工夫】

- ・全体交流・適用問題の時間の確保、適用問題の工夫

【手立て2 「かく」活動】

- ・絵や図、式などを使って、2の段の九九をつくる。

【手立て3 相互交流】

- ・2の段の九九の作り方について話し合う。
- ・2の段の九九の答えを確認し合う。

(3) 展開

	○学習活動 ●主な発問	・指導上の留意点《評価》
つかむ7分	<p>1 前時までの学習内容を想起する。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <p>○問題を提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1 さらにすしが2こずつのっています。さらは、何さらかあります。すしの数をしらべましょう。</div> <p>○課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2 のだんの作り方を考えよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5の段の九九を想起させる。</li> <li>・掲示してある前時までの学習内容と本時の学習内容を比べ、違いを見つけさせる。</li> </ul>
深める20分	<p>3 課題を解決する。</p> <p>●皿が2皿, 3皿, 4皿, 5皿の時のすしの数を求めましょう。</p> <p>○自力解決の見通し 図 式 たし算</p> <p>○自力解決 ノートに自分の考えをかく。</p> <p>4 考えを交流する。</p> <p>●皿が2皿, 3皿, 4皿, 5皿の時のすしの数を発表してください。</p> <p>○全体で2の段の答えを確認し合う。</p> <p><math>2 \times 2 = 4 \leftarrow 2 + 2</math>  <math>2 \times 3 = 6 \leftarrow 2 + 2 + 2</math>  <math>2 \times 4 = 8 \leftarrow 2 + 2 + 2 + 2</math>  <math>2 \times 5 = 10 \leftarrow 2 + 2 + 2 + 2 + 2</math></p> <p><math>2 \times 2 = 4</math>  <math>2 \times 3 = 6 \leftarrow 4 + 2</math>  <math>2 \times 4 = 8 \leftarrow 6 + 2</math>  <math>2 \times 5 = 10 \leftarrow 8 + 2</math></p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【手立て2 「かく」活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が選んだ考え方で、2の段の九九を作る。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【手立て3 相互交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2の段の九九をどのように作っのか、全体で確認し合う。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体交流では、数名の児童を指名し、どのように答えを求めたのか発表させる。発表を聞く時は、自分の考えと同じかどうかを考えながら聞くように伝える。</li> <li>・表現は違っていても、同じことを説明しようとしていることに気付かせる。</li> <li>・アレイ図と式等を対応させたり、児童の異なる考え方を比べさせたりして、2の段では答えが2ずつ増えて</li> </ul>

	<p>●皿が6皿，7皿，8皿，9皿の時のすしの数を求めましょう。</p> <p>○6，7，8，9皿の時のすしの数を求める。</p>	<p>いることに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《数学的な考え方》</p> <p>2の段の九九の作り方を考え、式や言葉等で説明することができる。(ノート・発表の様子を観察)</p> </div>
まとめる	<p>5 学習内容をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2のだんの作り方 答えを2ずつたす。</p> </div> <p>○アレイ図を使いながら2の段の九九の答えを言い、ペア同士で確認する。</p>	<p>【手立て3 相互交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アレイ図を使って2の段の答えを言い、ペア同士で答えの確認をし合う。</li> </ul>
18分	<p>6 適用問題を解く。</p> <p>●問題を解きましょう。終わった人は、ゴールデンボックスに進みましょう。</p> <p>7 学習を振り返る。</p> <p>●今日の学習でわかったことをペアに伝えましょう。伝えたら、学習の振り返りを書きましょう。</p> <p>○学習を振り返って、ノートにかきまとめる。</p>	

(4) 評価計画

評価規準	概ね満足できる状態	支援を要する児童への手立て
《数学的な考え方》 5の段の九九の作り方を基に、2の段の九九の作り方を考え、式や言葉等で説明することができる。	2の段の九九の作り方を考え、式や言葉等で説明することができる。	アレイ図等を用意し、実際に数を数えさせながら2の段を作るようにさせる。

(5) 板書計画



